

TORIDE

止石

五城目消防広報誌

Vol.20

五城目消防
GOJOME FIRE DEPT.

特集

緊急消防援助隊

岩手県大槌町林野火災
五城目消防の活動記録

VOL.20 2026.9 五城目町消防本部 消防広報誌

大船渡市林野火災に次ぐ緊急消防援助隊出動 五城目消防の11日間の活動記録

4月22日、岩手県大槌町小槌地区・吉里吉里地区で発生した林野火災において、町消防本部は緊急消防援助隊として出動し、延べ11日間にわたって消火・警戒活動にあたりました。

今号では、町消防本部が大規模林野火災に挑んだ11日間の活動の記録を紹介します。

火災の概要

- 【出火日時等】 覚知日時 小槌地区 4月22日 13時53分
吉里吉里地区 4月22日 16時22分
鎮火時刻 5月29日 13時00分
- 【焼損面積】 小槌地区 約446ha 吉里吉里地区 約1,187ha
- 【派遣期間】 4月24日～5月4日（11日間）
- 【派遣隊員数】 第1次派遣隊～第4次派遣隊まで延べ24名
- 【派遣車両】 五城目タンク2（消火小隊） 五城目搬送1（後方支援小隊）
- 参考：「岩手県大槌町の林野火災による被害及び消防機関等の対応状況」（総務省消防庁）



五城目タンク2



五城目搬送1

活動の記録

01 集結場所到着・発隊式

— 集結場所 —

総務省消防庁から緊急消防援助隊の出動要請があり、要請を受けた町消防本部は、直ちに派遣体制を確立。消火小隊4名、後方支援小隊2名の計6名による第1次派遣隊を編成し、集結場所である岩手県の「道の駅 遠野風の丘」へ向け、24日に出発しました。



— 発隊式 —

集結場所に到着後、派遣先や今後の活動に関する指示を受けました。続いて行われた秋田県大隊の発隊式では、県内各消防本部から駆け付けた隊員たちが任務への決意を再確認し、「被災地のために」という強い思いのもと、全員が心を一つにして活動へと踏み出しました。



秋田県大隊発隊式

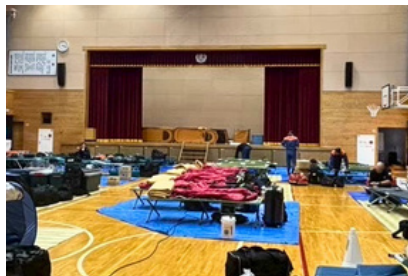
02 宿营地到着

－宿营地設営－

秋田県大隊の宿营地には、東日本大震災後に高台へ再建され、その後閉校した旧船越小学校が指定されました。隊員たちは速やかに宿营地の設営に取り掛かり、体育館内に簡易ベッドを設置。全隊員が体育館で宿営・待機する態勢を整え、現場への出動に備えました。



旧船越小学校



体育館に全隊が宿営



就寝は簡易ベッドに寝袋

03 活動開始

－消火・残火処理活動－

現場の山林は急斜面が多く水利も乏しいため、飛び火による延焼拡大の危険が常に伴う状況でした。そうした困難な状況のもと、少ない水で高い消火効果を発揮する「CAFS（キャプス：圧縮空気泡消火装置）」や、水利のない急斜面でも活動できる「背負い式水のう」などの資器材を駆使し、住宅への延焼防止を最優先の活動方針とし、懸命の消火活動を展開しました。



白煙が立ち上がる山林



CAFSを使用して消火活動にあたる隊員



背負い式水のうで残火処理をする隊員

04 派遣終了申告・活動報告会

活動を終えた派遣隊は、荒川町長に対して緊急消防援助隊の派遣終了を申告し、活動内容を報告しました。報告会では、代表隊員が現地での活動を詳しく説明するとともに、派遣を通じて得た教訓を共有しました。

荒川町長からは、隊員の活動に対するねぎらいのお言葉とともに、この経験を今後の消防活動に活かし、引き続き訓練に取り組んでほしいとの期待が寄せられました。

広範囲に及ぶ林野火災の現場で全力を尽くした経験を糧に、今後も大規模災害に備えて訓練を重ね、町民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、職員一丸となって消防力の充実・強化に取り組んでまいります。



荒川町長への申告



五城目町消防本部の最新情報をお届けします！

NEWSLETTER



Topic 01

サウナ施設立入検査



近年のサウナ施設における火災事例を受け、サウナ施設の立入検査を実施しました。今回はサウナを備える小倉温泉と湯の越温泉を対象に、防火安全管理や消防設備の維持管理状況、避難経路の確保について重点的に調査をし、適切に管理されていることを確認しました。温泉やサウナは、心身のリフレッシュや健康づくりの場として親しまれています。利用者の皆様が安心して施設を利用できるよう、今後も立入検査を通じて火災予防に努めてまいります。

Topic 02

五城目町消防職員研修会

5月28日、火災現場における消火活動の技術向上を目的として、神奈川県の大和市消防本部から講師を招き、研修会（ホーストレーニング）を開催しました。

この研修会では、ホース延長をはじめとする消火活動の基本動作から実践的な放水技術まで幅広く学びました。

今後も継続的に訓練を実施し、身につけた技術を実際の現場で活かせるよう、実践力の向上に努めてまいります。



－ 編集後記 －

東日本大震災が発生したあの日、大槌町内のホテルに宿泊していた五城目町老人クラブの皆様は、ホテルの従業員をはじめ、地域の方々の懸命な対応により、全員が無事に五城目町へ帰ることができました。

この出来事をきっかけに両町の交流は深まり、今も互いに支え合う関係が続いています。あれから15年。あのときにいただいたご恩と感謝の気持ちは、時が流れても決して色あせることはありません。

今号では、大槌町で発生した林野火災に、緊急消防援助隊として出動した隊員たちの活動をお伝えしました。これからも本誌を通じて、消防のさまざまな活動を分かりやすくお届けしてまいります。次号もどうぞお楽しみに！（館岡雅志）

Topic 03

五城目消防フェア2026開催

消防フェアを開催します。子どもから大人まで楽しみながら防火・防災について学べる絶好の機会です。職員一同、皆様のご来場をお待ちしております。

▼ 日時：令和8年10月4日（日）
10時00分～12時00分

▼ 場所：五城目町消防本部

【イベント内容】

1. 消防車・救急車の展示&乗車体験
2. 消防服試着コーナー
3. なりきり消防士！放水体験
4. 火災を知る！煙体験
5. 人形引き上げレスキュー体験！
6. レスキュー隊による救助訓練展示
7. もりやまこども園作品展示
8. 応急手当・防災普及コーナー
9. 消防団加入促進コーナー
10. 消防写真展示
11. 消防車スティックバルーン配付

※雨天時は屋内で縮小開催、災害発生時は中止になる場合があります。

HP



Facebook



Instagram

